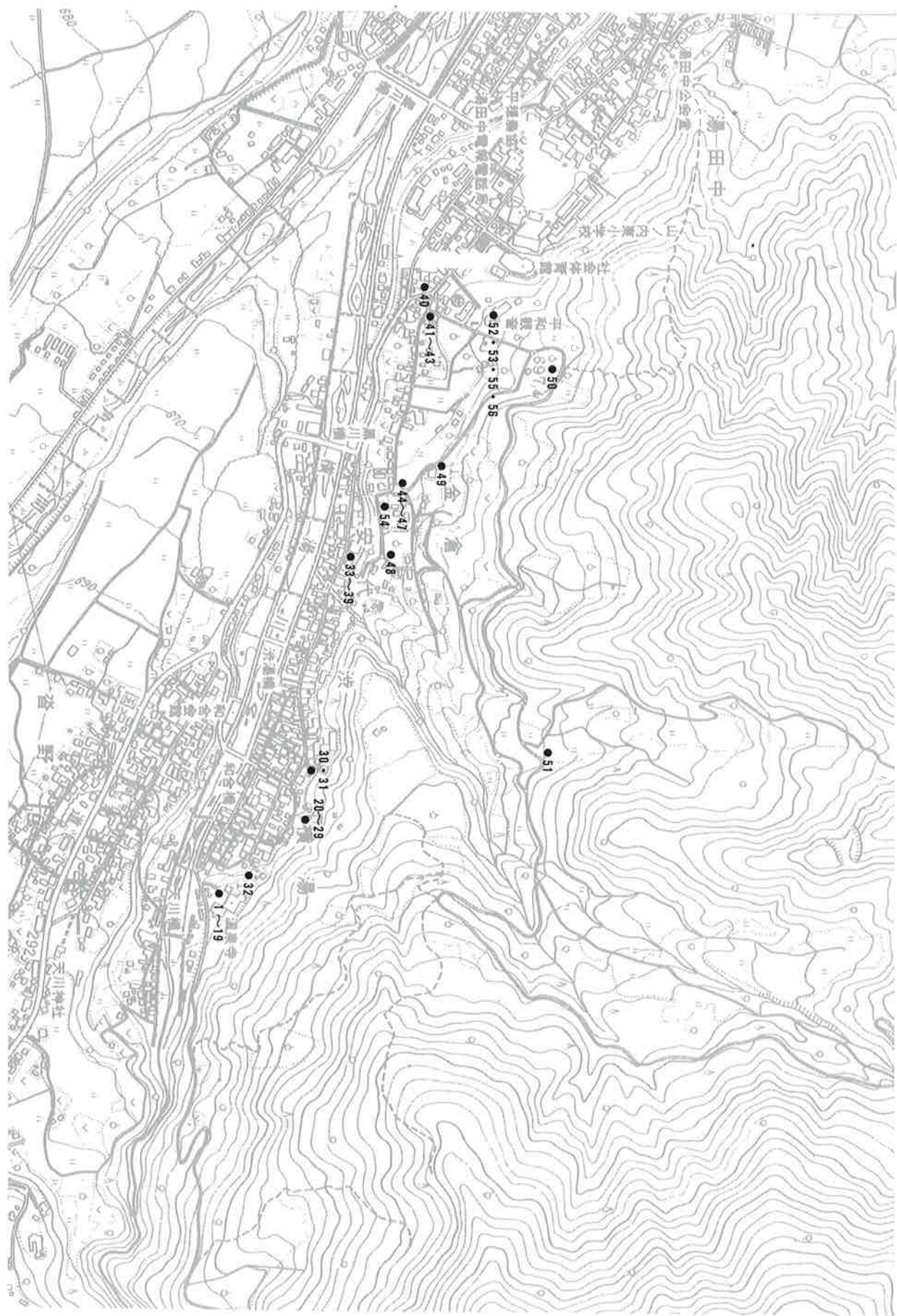


三
澁・安代・金倉



魚藍観音(澁・安代・金倉の部No.34)





洪・安代・金倉 — 湯治場的な温泉街 —

洪温泉の開湯の伝承は古い。高僧行基開湯説は、奈良朝まで遡る。その後、嘉元三年に虎関師錬が温泉寺建立の時、この温泉も経営したという。以後名湯として草津とともに栄え、名士・文人墨客が多く来湯している。

明治以後には、横湯川に沿って安代に延び、細長い湯治場的な霧囲気の温泉町を形成した。



3 石燈籠 洪温泉寺
元禄2年3月(170
×29×30)



2 無縫塔 洪温泉寺 昭
和62年(35×25)



1 無縫塔(歴代任職墓碑) 洪温泉寺



6 六地藏 洪温泉寺



4 筆塚(第19世) 洪温泉寺 明治24年8
月(225×70×33)



8 供養塔 洪温泉寺(105×44
×15)



7 武田信玄安堵状碑 洪温泉寺
(120×86×45)



5 句碑(北斎) 洪温泉寺(80×115)



13 結界石 波温泉寺 元禄5年初冬(134×32×31)



11 供養塔 波温泉寺 昭和6年3月(128×46×17)



10 庚申塔 波温泉寺 寛永4年6月(58×25×22)



9 供養塔 波温泉寺 (108×29×26)



14 無縁塔 波温泉寺 安永9年6月(92×32×26)



16 忠魂碑 波温泉寺 昭和44年5月(265×100×16)



15 庚申塔 波温泉寺 文政11年4月(72×30×27)



12 寒念仏回向 波温泉寺 文化8年(180×80×15)



19 墓碑(伝虎関師鍊) 渋温泉寺(160×60×60)



17 六地藏 渋温泉寺(75×25×16)



18 無縫塔(歴代墓碑) 渋温泉寺(23×28)



24 記念碑(学神の森)
渋薬師堂境内
昭和61年8月(66×96×16)



23 句碑(雨竹)
渋薬師堂境内(100×50×22)



22 句碑(原泉院)
渋薬師堂境内(125×70×32)



21 句碑(芭蕉) 渋薬師堂(125×65×30)



20 不動尊群 渋山根



28 句 碑(護節) 波薬師堂 (130×80×45)



27 二十三夜塔 波薬師堂 明治42年 (135×45×21)



26 筆 塚(肩桐万吉) 波薬師堂 明治32年 (153×80×35)



25 句 碑(芭蕉) 波薬師堂境内 (80×40×20)



32 大黒天碑 波薬師堂 元治元年 (107×95×28)



29 句 碑(子明) 波薬師堂 (128×50×32)



31 文学碑(若山牧水) 波大湯 昭和60年 (95×171×16)



30 記念碑(行基開源) 波大湯 昭和29年11月 (148×64×10)



34 魚藍観音 安代(80×30×17)



33 六地藏 安代(58×30×25)



36 地藏尊 安代榎沢(55×40×20)



35 頌徳碑 安代榎沢 明治
20年7月(164×68×24)



39 供養塔(寒念仏) 安代 安永8年(94×40)
39 供養塔(寒念仏) 安代 安永8年(83×45)



38 永田徳本碑 安代
榎沢 文化13年
(220×60×47)



37 庚申塔 安代 寛政9
年11月(70×28×24)



42 地藏尊 金倉(90×90)



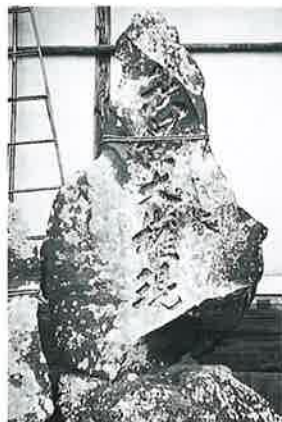
41 彌勒尊大門碑 金倉(120×60×26)



40 頌徳碑(感恩碑) 金倉 昭和12年3月(297×260)



46 庚申塔 金倉入口の辻(150×50×37)



45 秋葉大権現塔 金倉入口の辻 天保3年(165×100×30)



44 二十三夜塔 金倉入口の辻 天保11年3月(125×70)



43 道標 金倉大門前(70×33×27)



47 立石 金倉 元治2年2月(165×60×60)

48 庚申塔・馬頭観音群 金倉 元禄2年(63×33×28)





51 馬頭観音 金倉雨池
明治36年4月(89×43×15)



50 弥勒石仏(みろく) 大治
5年4月(180×120×55)



49 供養塔(普賢菩薩) 金倉 宝永元年7月
(240×65×55)



53 頌徳碑(横江嘉純) 金倉
昭和42年7月(145×100×42)



52 記念碑(観音再建) 金倉
昭和58年6月(183
×92×19)



56 記念碑(大観世音) 金倉 昭
和13年5月(125×70×45)



55 句 碑(開眼供養記念)
安代 昭和44年9月
(125×50×14)



54 川除大神宮祠 榎沢 明治18年10月(85×
31×28)